

常陸太田市 地域おこし協力隊広報誌

# おかげさま

令和5年度  
地域おこし協力隊  
活動レポート



## 常陸太田市の地域おこし協力隊

平成23年度から地域おこし協力隊員を受入れ、地域の活性化を目指す取り組みを進めています。本誌では、令和6年3月時点で活動している2名の隊員の活動を紹介しています。





**俵谷昂樹** (たわらや こうき)



○活動ミッション

**梨栽培農家の担い手**

○活動期間

**令和3年4月1日～**

**令和6年3月31日**

**自己紹介**

元々東京の日野市で暮らしていましたが、茨城町にある茨城県立農業大学校進学を機に茨城県へ移住。多くの方に美味しいと言っていただけるような、そんな梨農家を目指して、時に苦労しながらも日々楽しく研修をしています。

**市の魅力発見！**

○「プラトーさとみ」（常陸太田市里川町）

夏の高原を吹き抜ける風の涼しさや心地よさはもちろん  
景色や満天の星空がとても綺麗です！

○「鯨ヶ丘商店街」

古くからの街並みが残る和モダンな風景と、  
地域の人々に愛される飲食店や小売店が魅力です！



「プラトーさとみ」の星空



○活動ミッション

**梨栽培農家の担い手**

○活動期間

**令和4年5月1日～**

**(活動2年目)**

**武藤春香** (むとう はるか)

## 自己紹介

那珂市出身の24歳です。エネルギーの源は納豆ご飯です。

小さいころから植物が好きで農業にあこがれていました。青森県の大学に進学しリンゴについて学び、地元の茨城で就農したいと思って戻ってきました。

## 市の魅力発見！

気候：比較的温暖で穏やかな気候のため多様な種類の作物の栽培が盛んです。

人：いつも応援してくれる人、困ったときに支えてくれる人、迷ったときにアドバイスしてくれる人、協力隊の活動を見守ってくれる人がたくさんいます。

イベント：季節ごとのお祭りや朝市、特産品であるそばのスタンプラリー、マラソン大会など老若男女みんなが楽しめる色々な催し物があります。

自然：滝や山を散策したり、公園で遊んだり、整備してくださる方々のおかげで自然を満喫することができます。特に夜、きらめく星空には感動しました。

# 梨ができるまで

梨農家を目指す2人の隊員の活動を  
梨栽培の方法と共に紹介します

12月～3月頃

## 剪定・誘引 ー枝を切り、整えるー

切る枝、残す枝の見極めが重要な作業です。また、  
病気のリスク軽減のため、きれいに切ることも大切です。

その年だけでなく、何年も後まで影響するため力を入れて取り組みました。枝に切れ目を入れ、ねじって倒す捻枝（ねんし）という作業が難しかったですが、今ではほとんど失敗することもなくなりました。



講習会等で知識を得たつもりでも、実際に樹を前にすると枝がたくさんあって悩んでしまい、剪定は本当に難しい作業だと思いました。誘引ではすばやく紐を結び、時間を短縮したいです。剪定・誘引した樹の今後の成長が、不安もありますが楽しみです。



剪定・誘引前



剪定・誘引後



4月頃

## 受粉 ー花に花粉をつけるー

梨は同じ品種では受精しないため、実をつけるためには異なる品種の花粉をつける必要があります。

最初はすぐに花粉がなくなってしまうのですが、今は実がつく時のことをイメージしながら、無駄を減らして受粉できるようになりました。



梵天（ぼんてん）という専用の道具で  
受粉している様子

花粉は温度や水分に対してとてもデリケートなので慎重に扱うのが大変でした。昨年の開花時期は寒い日や風が強い日が多かったので受粉に適したタイミングが少なく、きちんと受粉できたか不安でした。めしべに花粉がついたかどうか肉眼ではほぼ見えないので、実際に結実した様子を見たときはほっとしました。




5月～7月頃

## 摘果

### —実の選別—

主に病気にかかっている実や変形している実を取ります。  
様々な方向から見て、実を選ぶように気を付けます。



最初は何が良い形なのかわからなかったのですが、  
今ではわかるようになってきました。一方、実が成長した時のことを考えて選ぶのはまだ苦手で、ご指導いただくことが多かったです。年間作業のなかでも苦手な作業なので今後も練習して上達したいです。



摘果する梨を選んでいる様子

大きいけど形が良くないものや、小さいけど形がきれいなものなど、どちらを選ぶべきか迷うことが多かったです。果実が毎日少しずつ大きくなる様子を見て梨と一緒にがんばっている気分でした。雨が降った後など、たまに一気に肥大が進むことがあり、観察するのが楽しかったです。




8月～10月頃

## 収穫

### —おいしい梨を見極める—

収穫した梨を移動させるときは少しの衝撃でも傷みにつながるので丁寧に扱う必要があります。



色を見極めるのが難しかったのですが、今では一目で判断が付くようになってきました。お客さんの口に入るものなので特に気を使って作業をしています。



収穫シーズンの梨畑

1年間の色々な栽培管理を乗り越えてようやく収穫を迎えたときは感動しました。畑での収穫と直売所での接客を行ったり来たりするのが大変でしたが、お客さんから「美味しかったよ」と言ってもらえて嬉しかったです。



協力隊の活動（梨栽培）について  
もっと知りたい方はこちらから



## これまでを振り返って

1年目は梨の年間の作業について行くのがやっとで初めての土地で戸惑う事も多かったです。それでも農家さん方から作業のやり方を教えてもらったり、近所の方が優しく声をかけてくださったりと、常陸太田の人の優しさや懐の深さに心温まりました。2年目は管理作業にも慣れてきた一方、まだまだ小さなミスも多く、また、社会人としてのルールや人として大事な所の未熟さが浮き彫りになって、叱られることもあり、時にはベソをかきながら作業をすることもありました(笑)。梨農家としてだけでなく人としても大きく成長できた1年だったと思います。協力隊最後の年となる3年目は自分の管理で作業を進めて梨を作る事で自立を目指しました。ただ闇雲に作業をするのではなく、「何月何日までにこの作業を終わらせるために今日はここまでやろう」と段取りを考えて進めました。

実際はペース配分を間違えることもありましたが、大体予定通りに進められて、2年目より作業の精度も上がった事で心も身体も少し余裕を持つてできるようになりました。今までの経験の積み重ねができていた事を感じた1年でした。



## これからに向かって



協力隊を終えた4月からは、今の研修先の梨農家さんの元で、引き続き技術や社会人としてのマナーを学んで、1人前の梨農家を目指します！農家さん方に教えて頂いたり、自分でも新しい技術ややり方を調べて取り入れて、誰が食べても美味しいと思ってもらえる最高の梨を作れる梨農家になります！最後に、研修先の農家さんをはじめ、近所の方々などたくさんの人に支えていただいたおかげで、地域おこし協力隊での3年間を無事終える事が出来ます。周囲の方々のおかげで人生で1番成長できて楽しい3年間でした。本当にありがとうございました！これからも常陸太田で頑張っていくのでよろしくお願いします！

## これまでを振り返って

皆さんのおかげで2年目の研修も終わることができました。日頃よりわたしの協力隊活動を支えてくださりありがとうございます。1年目は一つ一つの栽培管理を覚えることを目標に初めての梨栽培に挑戦し、課題となったのは体力やスピードでした。2年目は少し体力が付き1年目よりも速く作業できるようになりましたが、独立してやっていくには体力もスピードももっと向上したいです。研修を通じて梨栽培の楽しさも大変さも知り、梨農家になりたいという思いが高まる一方で自分にできるのか不安でしたが、新規就農や経営についての講座を受講し、同じく就農を目指す仲間とともに将来の計画を立てることができたおかげで改めて就農への覚悟を決めることができました。



## これからに向かって



3年目は独立に向けて、退任後に管理する畑の草刈り作業や、必要な機械や作業場、住居の確保などの具体的な準備をしていきます。また、農薬や機械整備など、まだまだ勉強しなければいけないことがたくさんあるので引き続き勉強にも励みます。退任後は畑に苗木を植えて新しい梨園を作る予定です。梨は苗木の定植から収穫開始まで5年かかるので、美味しい梨ができるまで楽しみにお待ちください。

一般的に農業はきついと言われますが、機械の導入、技術の進歩により実態は変わってきていると思います。女性の私にもできる方法で無理なく続けられる農業を目指し、農業の魅力を同世代の若い人たちに広め、地域を盛り上げられるように頑張ります。



# 地域おこし協力隊って何？

都市部などから人材を受け入れ、  
地域の活性化や定住・定着を図る取組です。



協力隊の制度を詳しく  
知りたい方はこちらから



市HP  
【地域おこし協力隊】

協力隊の活動を詳しく  
知りたい方はこちらから



市公式協力隊  
Instagram

常陸太田市 地域おこし協力隊 広報誌「おかげさま」

発行：令和6年3月

編集：常陸太田市 企画部 少子化・人口減少対策課

常陸太田市 地域おこし協力隊

〒313-8611 茨城県常陸太田市金井町3690

TEL 0294-72-3111 (代表)